



横手版「防災士」を養成へ

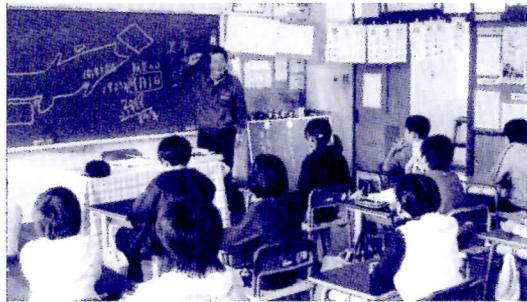
高橋大市長は初日の2月27日、施政方針で「日本防災士機構が認定した〈防災士〉との連携を図りながら、より一層、横手の特性や実情に合致した横手版〈防災士〉養成教育制度の創設を検討する」と表明しました。

大規模な自然災害の頻発により、地域防災力向上の必要性が高まる中で、横手市として地域防災リーダーの育成を図る大きな柱となります。

「防災士」に関しては、昨年6月定例会

において、青山ゆたかがその意義や必要性について一般質問を行っています。

これからの動きに注目していきたいと思えます



提供：日本防災士会

28年度一般会計補正予算案を可決

最終日の3月22日、28年度の一般会計補正予算案（第7号）15億9600万円を全員賛成で可決しました。累計額は543億4300万円となります。

主な事業は次のとおりです。

● 山内南郷コミュニティセンター費
【5800万円】

● 共助活動を行う拠点施設整備費
増田まんが美術館整備事業
【5億4900万円】

● 増田ふれあいプラザをマンガに特化した美術館にリニューアルするための事業費の増額

● 中学校長寿命化対策事業
【1億8500万円】

● 横手南中と増田中の校舎改修工事費
【2億5200万円】

● 作物振興事業
JA秋田ふるさとのジュース加工場整備補助金



ジュース加工を強化

「複合化」と「市民参加」を提言

公共施設の在り方に関する調査特別委員会 中間報告

「公共施設の在り方に関する調査特別委員会」は最終日の3月22日、本会議において佐藤清春委員長が中間報告を行いました。

報告では、委員会が共有した方向性として、市民の多様なニーズに応えるための「大型施設の複合化」、公共施設の再配置を、新たなまちづくりの出発点と捉え、一体となった計画推進を図るための「市民参加の仕組みづくり」を挙げました。

今後はこの方向性のもと、公共インフラを含めた公有財産についての議論を重ねていきたいと思っております。

1月臨時議会

1月24日に臨時議会が開催され、横手市に進出する(株)プレステージ・インタリーショナル阪センター貸し出しのための条里南庁舎改修工事等900万円の28年度一般会計補正予算案（第5号）を全員賛成で可決しました。

